

日本の展望委員会 社会の再生産分科会第一回 議事要旨

開催日時 平成 20 年 9 月 24 日 16 時～18 時

出席者（敬称略 猪口・江原・大沢・橘木・南・進士）

議題 1 委員長・副委員長・幹事の選出

内規 17 条に基づき 大沢真理委員を委員長に選出した。

その後、大沢委員長の指名と委員の同意に基づき、

進士五十八委員を副委員長に、また江原由美子委員を幹事に選出した。

残りの幹事 1 名については、今後の進行状況に応じて、後に選出することとした。

議題 2 今後の進め方について

・委員の拡充について

必要な分野について意見交換が行なわれ、（臨床）医療・教育などの分野が挙げられた。

また第 3 部からもう一人参加していただくのが良いのではという意見があった。

・医療分野に関しては、適任者として中田力（なかだ つとむ）先生

（新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター長・教授）のお名前が挙がり、委員長から連絡しご参加いただけるかどうか確認することとした。

・「社会の再生産」に関連する主題に、以下のような条件が討議内容に含まれるかどうかなどについて、自由な意見交換が行なわれた。

移民労働者について／全国一律の基準による政策ではなく、地方の事情や特色を踏まえた政策が可能かどうか／雇用機会・経済政策／医療資源へのアクセス／教育へのアクセス／人口減社会に適合的な街づくり・地域づくり

・日本の展望委員会の組織及び本委員会の位置づけなどについて、以下のような質問が出され、討議された。

各部で作られている分野別委員会と、本委員会との関連

（資料 3 「日本の展望～学術からの提言（仮題）」についての考え方

平成 20 年度 4 月総会 4 月 7 日資料の 2 ページ参照）

他のテーマ別委員会とのテーマの重なりや分担について

議事録の交換・相互配布・日本の展望委員会（親委員会）における討議

総会その他の機会における議論など、幾つかのルートで相互の関連性を

確保する必要があることが確認された。

- ・最終的な報告に関連して、期限（2009年4月にポイントをまとめ8月までに文章化）、分量（A4 20枚以内）、方向性（学術の立場から提案するのであるから、実行可能な政策の選択肢を提示し、選択を国民に問うような形が良いのではないか等）、など、基本的なイメージと事項について、確認及び意見交換が行われた。

- ・今後の検討のために、各省庁で既に作られている関連諸政策や諸データ、学術会議が既に出した関連する諸報告などについて、情報収集していく必要性が確認された。

- ・次回委員会について

次回の委員会においては、委員長から、検討の材料として、本主題の基本的考え方や討議事項について、叩き台となる案を提示し、それを元に議論することとした。

- ・日程については、

以下の二つの案の中から委員の参加可能状況に応じて決定することとした。

10月1日 13時30分～14時00分

10月2日 12時00分～13時30分